

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社サニックス
2021年2月15日

1. 2021年3月期 第3四半期 決算概況 P.3

2. 2021年3月期 通期業績見通し P.13

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

新型コロナウイルス感染状況及び政府・自治体の対応、日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向、廃棄物（特に廃プラスチック類）の取扱いに関わる動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「-」で表示しております。

2021年3月期 第3四半期 決算概況

2021年3月期 第3四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期				
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	37,893	35,812	94.5%	△ 2,080	36,626	△ 813
売上総利益 (売上高売上総利益率)	13,260 35.0%	13,553 37.8%	102.2%	+ 293	13,621 37.2%	△ 67
営業利益 (売上高営業利益率)	2,284 6.0%	2,381 6.6%	104.2%	+ 97	2,010 5.5%	+ 370
経常利益 (売上高経常利益率)	2,087 5.5%	2,224 6.2%	106.6%	+ 136	1,863 5.1%	+ 360
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	1,531 4.0%	1,915 5.3%	125.1%	+ 384	1,494 4.1%	+ 421

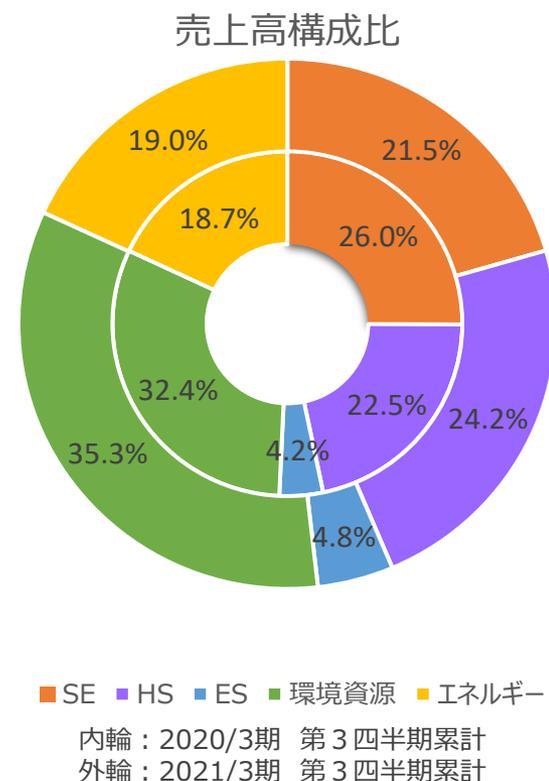
■売上高 S E事業部門においてF I T制度の改定を受け今期より自家消費向けの販売を開始しておりますが、前期好調であった土地付太陽光発電の減少分を吸収できておらず前年同期比2,162百万円の減収となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響はおもに法人営業部門において取引先企業の経済活動の状況等の影響を受けております。一方、個人向け営業部門においても営業活動の自粛による影響があったものの、この数年続けてきた企業・団体との提携の増加によって、紹介からの顧客件数が増加したことで影響を軽微にすることができています。この結果、グループ全体の売上高は35,812百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

■利益 S E事業部門は減益となりましたが、環境資源開発事業部門は増収分に加え、苫小牧発電所が前期に定期修繕を行っていることから相対的に修繕費が減少したことにより増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、2,381百万円の営業利益（前年同期比4.2%増）、2,224百万円の経常利益（前年同期比6.6%増）、1,915百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比25.1%増）となりました。

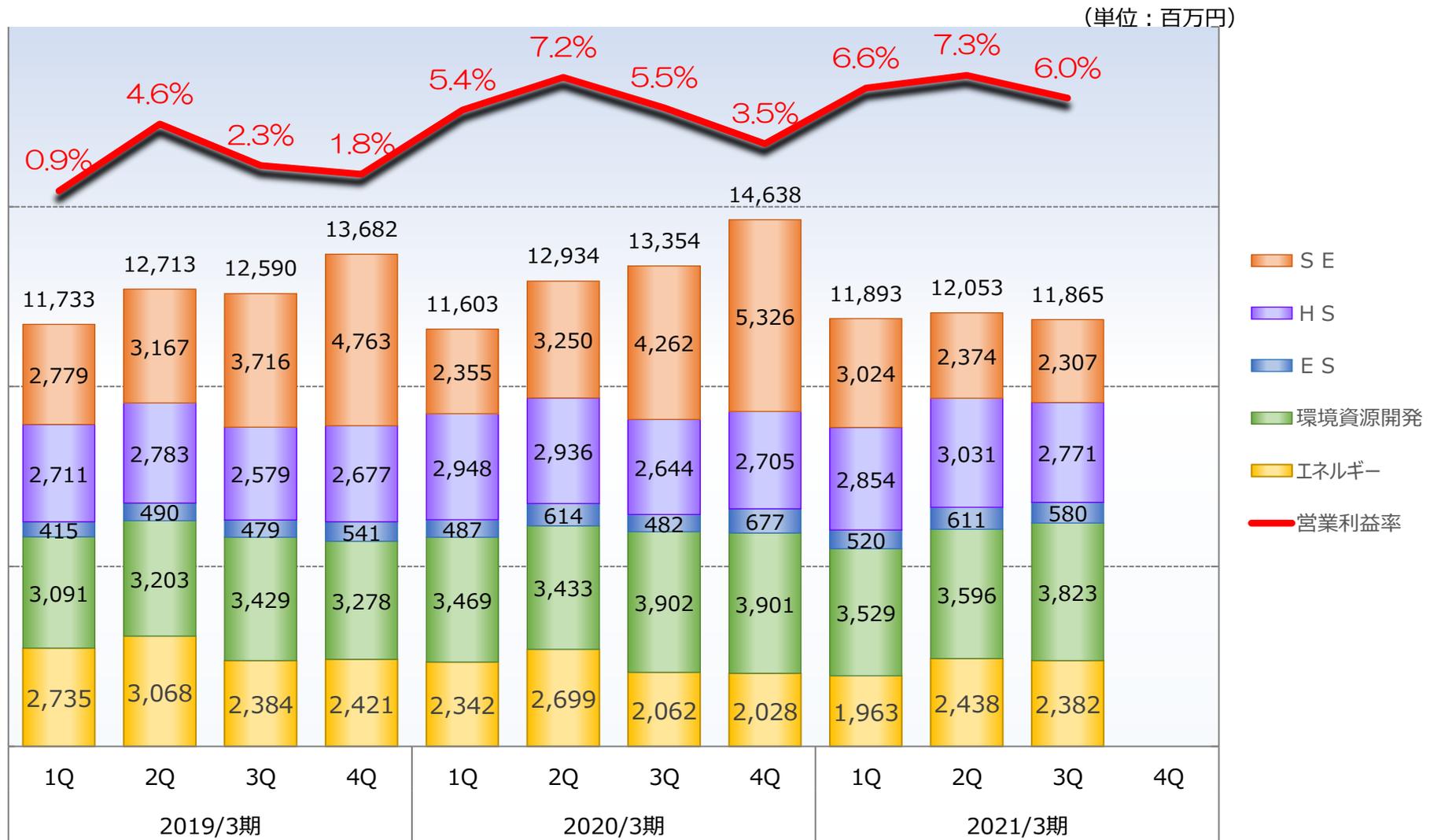
2021年3月期 第3四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期		
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	計画
売上高	37,893	35,812	94.5%	36,626
S E 部門	9,869	7,706	78.1%	8,671
H S 部門	8,529	8,658	101.5%	8,666
E S 部門	1,584	1,712	108.1%	1,696
環境資源開発部門	12,294	12,647	102.9%	12,818
エネルギー部門	7,103	6,790	95.6%	6,610
セグメント間の 内部売上高調整額	△1,488	△1,702	—	△1,837
営業利益	2,284	2,381	104.2%	2,010
S E 部門	741	219	29.6%	228
H S 部門	1,633	1,639	100.4%	1,598
E S 部門	155	180	115.8%	192
環境資源開発部門	2,317	2,998	129.4%	2,856
エネルギー部門	10	28	280.0%	△25
配賦不能	△2,574	△2,686	—	△2,840



【参考】セグメント別売上高の推移



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発及びエネルギーの売上高から差し引いております。

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	9,869		7,706		78.1%	8,671	
施工売上	9,581	97.1%	7,481	97.1%	78.1%	8,429	97.2%
卸販売	186	1.9%	153	2.0%	82.7%	161	1.9%
その他	101	1.0%	71	0.9%	70.2%	80	0.9%
売上原価	6,603	66.9%	5,250	68.1%	79.5%	6,037	69.6%
うち、材料費等	3,872	39.2%	2,989	38.8%	77.2%	3,522	40.6%
うち、労務費	539	5.5%	490	6.4%	91.0%	491	5.7%
売上総利益	3,265	33.1%	2,456	31.9%	75.2%	2,633	30.4%
販売費・一般管理費	2,523	25.6%	2,236	29.0%	88.6%	2,404	27.7%
うち、人件費	1,357	13.8%	1,205	15.6%	88.8%	1,351	15.6%
営業利益	741	7.5%	219	2.9%	29.6%	228	2.6%

SE事業部門は、FIT制度の改定を受け、前期好調に推移しておりました土地付太陽光発電の施工が減少することを想定し、新たな市場を開拓する目的で今期より自家消費向けの販売を開始いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり計画通りに進んでおりません。そのため、小規模な案件の獲得に注力し、余剰案件の施工件数は前年同期比で131.5%増加いたしました。この結果、売上高は7,706百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

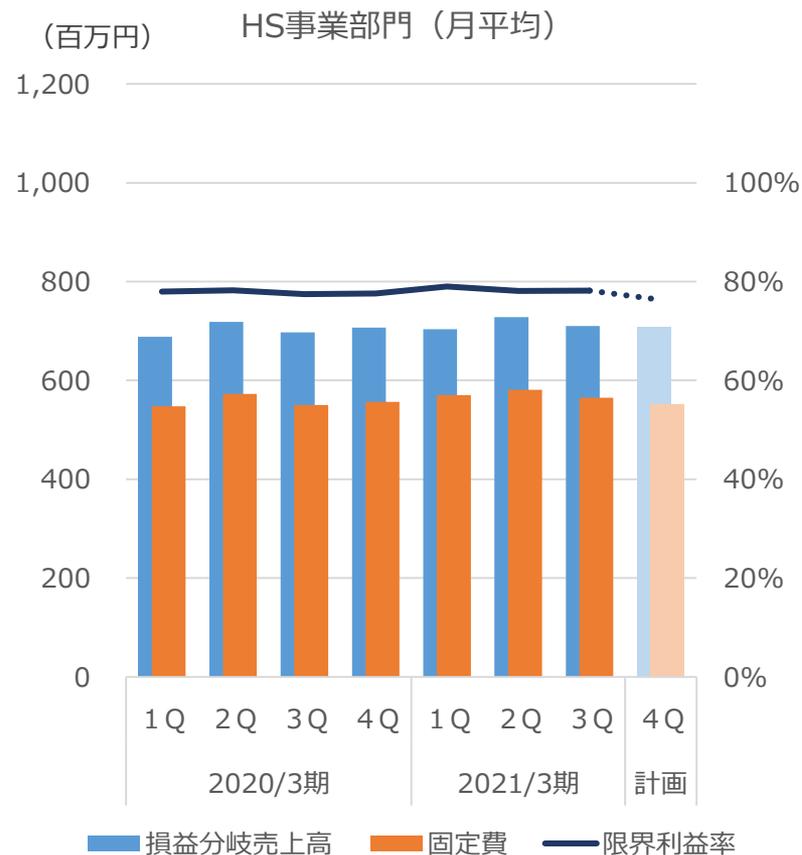
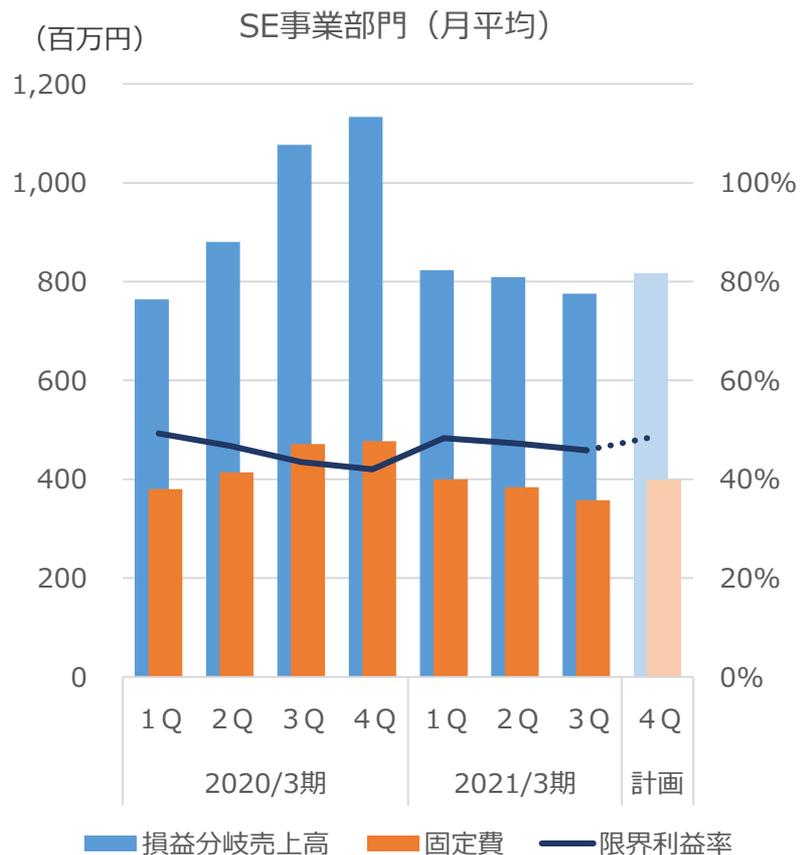
営業損益は、材料費率の低減及び販管費のコストを抑制したものの減収の影響が大きく、219百万円の営業利益（前年同期比70.4%減）となりました。

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	8,529		8,658		101.5%	8,666	
白蟻防除施工	2,762	32.4%	2,756	31.8%	99.8%	2,823	32.6%
床下・天井裏換気システム	1,843	21.6%	2,233	25.8%	121.2%	2,111	24.4%
基礎補修・家屋補強工事	1,388	16.3%	1,273	14.7%	91.8%	1,379	15.9%
その他	2,535	29.7%	2,394	27.7%	94.4%	2,351	27.1%
売上原価	3,373	39.6%	3,353	38.7%	99.4%	3,353	38.7%
うち、労務費	1,194	14.0%	1,198	13.8%	100.4%	1,218	14.1%
売上総利益	5,155	60.4%	5,304	61.3%	102.9%	5,313	61.3%
販売費・一般管理費	3,522	41.3%	3,664	42.3%	104.0%	3,714	42.9%
うち、人件費	2,169	25.4%	2,308	26.7%	106.4%	2,297	26.5%
営業利益	1,633	19.2%	1,639	18.9%	100.4%	1,598	18.4%

HS事業部門では、新型コロナウイルス感染拡大により2020年4月に発令された緊急事態宣言時において新規営業を自粛する等、営業活動に多大な影響を受けました。このような環境においても、新規顧客の獲得件数は前年同期比で18.1%増加しております。これは、以前より強化を図っておりました提携企業からの紹介案件が前年同期比で39.9%増加したこと等によるものであります。この結果、売上高は8,658百万円（前年同期比1.5%増）となりました。営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加しましたが計画内に収めることで、1,639百万円の営業利益（前年同期比0.4%増）となりました。



S E 事業部門の2020/3期の第4四半期は、材料費に棚卸資産評価損として644百万円を計上しているが、上記計算では影響を除いている。

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	1,584		1,712		108.1%	1,696	
売上原価	772	48.7%	789	46.1%	102.2%	767	45.2%
うち、労務費	190	12.0%	191	11.2%	100.5%	186	11.0%
売上総利益	812	51.3%	923	53.9%	113.6%	929	54.8%
販売費・一般管理費	656	41.4%	742	43.4%	113.1%	736	43.4%
うち、人件費	394	24.9%	440	25.7%	111.6%	435	25.7%
営業利益	155	9.8%	180	10.5%	115.8%	192	11.4%

ES事業部門は、新型コロナウイルス感染拡大の環境下で、新規営業活動の自粛や、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との接触が困難になる等厳しい状況にありました。このような環境下においても、積極的な人員の増加や関東エリアにおいて2店舗新規出店する等エリア拡大によって、新たな顧客の開拓を行ってまいりました。これにより、既存店の業績が厳しい中でも、新規店舗の売上増加によって主力商品である「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」が前年同期比14.6%増となりました。この結果、売上高は1,712百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコストが増加しましたが増収効果により、180百万円の営業利益（前年同期比15.8%増）となりました。

※2021年1月に静岡に新規出店

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	12,294		12,647		102.9%	12,818	
プラスチック燃料	7,484	60.9%	7,897	62.4%	105.5%	7,869	61.4%
発電所売上	2,211	18.0%	2,334	18.5%	105.5%	2,572	20.1%
有機廃液処理	1,473	12.0%	1,408	11.1%	95.6%	1,492	11.6%
埋立処理	722	5.9%	584	4.6%	81.0%	470	3.7%
その他	402	3.3%	422	3.3%	105.0%	413	3.2%
売上原価	8,569	69.7%	8,260	65.3%	96.4%	8,515	66.4%
うち、労務費	1,338	10.9%	1,398	11.1%	104.5%	1,405	11.0%
売上総利益	3,724	30.3%	4,387	34.7%	117.8%	4,303	33.6%
販売費・一般管理費	1,407	11.4%	1,388	11.0%	98.7%	1,446	11.3%
うち、人件費	784	6.4%	809	6.4%	103.3%	834	6.5%
営業利益	2,317	18.8%	2,998	23.7%	129.4%	2,856	22.3%

環境資源開発事業部門は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動全般の停滞の影響を受け、廃プラスチック類の受入量は前年同期比7.1%減少しましたが受入物件の精査等により「プラスチック燃料」が前年同期比5.5%増、発電量の増加により「発電所売上」が前年同期比5.5%増となりました。一方、「埋立処理」は前期に震災廃棄物を受け入れていたため反動によって前年同期比19.0%減となりました。この結果、売上高は12,647百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

営業損益は、廃プラスチック類の受入物件精査等による収益性の向上や苫小牧発電所が前期に定期修繕を行っていることから相対的に修繕費が減少したこと等により、2,998百万円の営業利益（前年同期比29.4%増）となりました。

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績【エネルギー事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	7,103		6,790		95.6%	6,610	
売上原価	6,801	95.7%	6,307	92.9%	92.7%	6,168	93.3%
うち、材料費	6,508	91.6%	5,906	87.0%	90.8%	5,755	87.1%
売上総利益	302	4.3%	482	7.1%	159.7%	442	6.7%
販売費・一般管理費	291	4.1%	453	6.7%	155.5%	467	7.1%
うち、人件費	159	2.2%	261	3.9%	164.4%	264	4.0%
営業利益	10	0.1%	28	0.4%	280.0%	△25	—

エネルギー事業部門では、電力の小売契約件数は64.9%増加しております。一方、収益性改善のために卸電力取引市場（JEPX）へ流していた余剰電力を削減するため、相対による電力調達量を削減いたしました。これにより、JEPXへの卸売量が減少したため、売上高は6,790百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

営業損益は、戸建て住宅を対象とした第三者保有型太陽光発電モデル推進のための営業人員増により人件費等が増加したものの、相対による電力調達の減少により新電力事業の収益率が改善したことにより28百万円の営業利益（前年同期比180.0%増）となりました。

2021年3月期 通期業績見通し

2021年3月期 通期連結業績見通し

(単位：百万円)

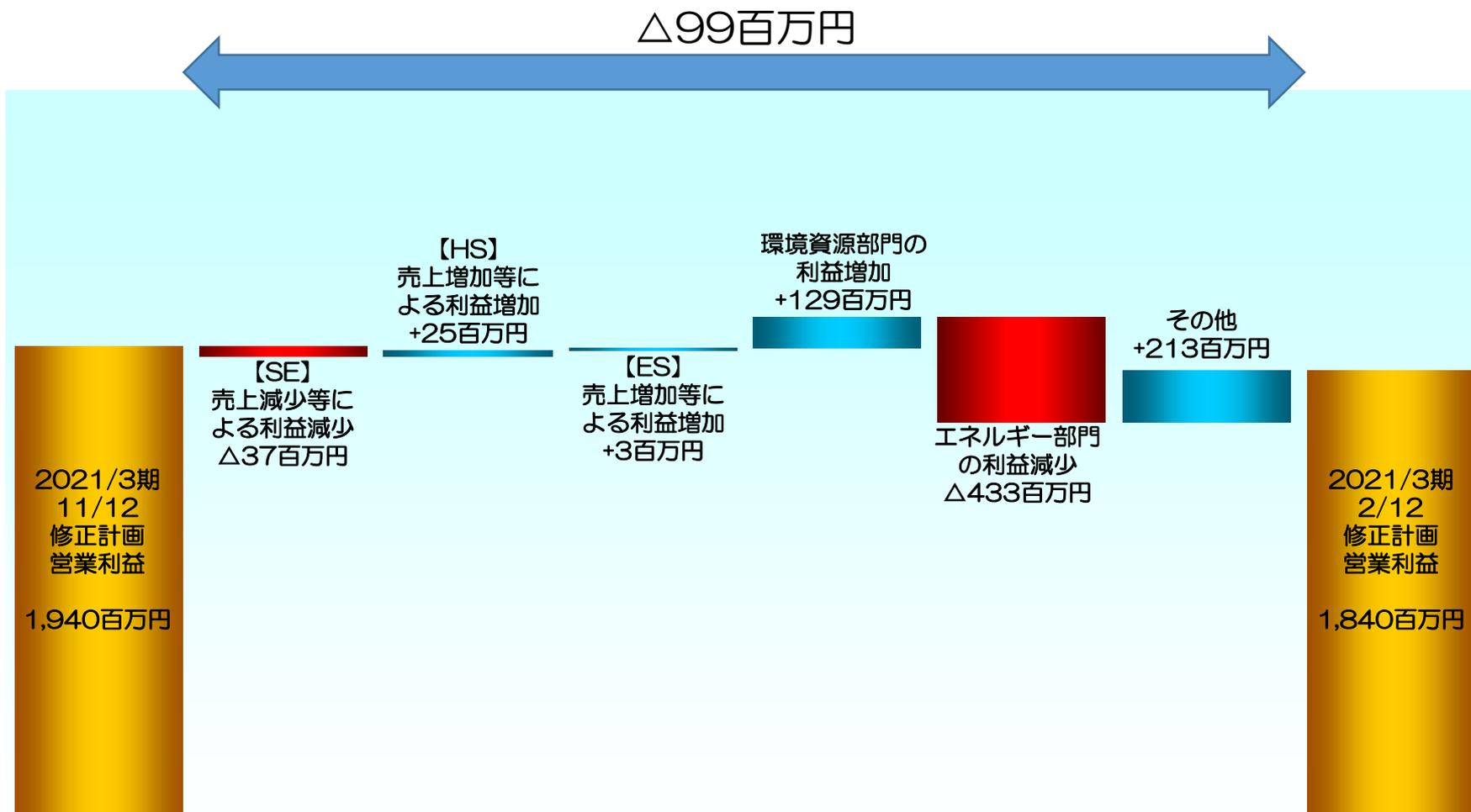
	2020/3期		2021/3期			
	実績	前期差異	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売上高	52,531	+ 1,811	49,127	△ 3,403	49,738	△ 610
売上総利益 (売上高売上総利益率)	17,556 33.4%	+ 2,726	16,885 34.4%	△ 671	17,626 35.4%	△ 741
営業利益 (売上高営業利益率)	2,791 5.3%	+ 1,566	1,840 3.7%	△ 950	1,940 3.9%	△ 99
経常利益 (売上高経常利益率)	2,592 4.9%	+ 1,409	1,610 3.3%	△ 981	1,785 3.6%	△ 174
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	1,850 3.5%	+ 1,610	1,199 2.4%	△ 651	1,345 2.7%	△ 145

2021年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績及び下記要因を踏まえて、修正いたしました。

エネルギー事業部門は、冬期の天候要因及びLNG不足等による電力販売量の増加と市場価格の高騰により売上高は1,224百万円増加する見込みであります。一方、営業損益につきましては、電力調達コストが想定以上に増加し433百万円減少し、赤字となる見通しであります。

SE事業部門は、今期から販売を開始しております自家消費向けの販売について、新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり計画通りに進んでいないことから1,744百万円減少する見込みであります。この結果、連結売上高は前回予想を610百万円下回る見込みであります。

通期見込み修正概要（11/12修正計画_2/12修正計画）



【参考】 セグメント別業績進捗状況

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売 上 高	52,531	49,127	△ 3,403	49,738	△ 610
S E 部 門	15,195	10,417	△ 4,777	12,161	△ 1,744
H S 部 門	11,235	11,354	+ 119	11,474	△ 120
E S 部 門	2,261	2,396	+ 134	2,320	+ 76
環 境 資 源 開 発 部 門	16,759	16,659	△ 100	16,824	△ 165
エ ネ ル ギ ー 部 門	9,132	10,491	+ 1,359	9,266	+ 1,224
セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 調 整 額	△ 2,053	△ 2,190	△ 137	△ 2,309	+ 118
営 業 利 益	2,791	1,840	△ 950	1,940	△ 99
S E 部 門	901	343	△ 558	381	△ 37
H S 部 門	2,061	2,042	△ 19	2,017	+ 25
E S 部 門	281	286	+ 4	282	+ 3
環 境 資 源 開 発 部 門	3,483	3,242	△ 241	3,112	+ 129
エ ネ ル ギ ー 部 門	△ 485	△ 407	+ 77	26	△ 433
配 賦 不 能	△ 3,452	△ 3,665	△ 213	△ 3,879	+ 213

2021年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売上高	15,195	10,417	△ 4,777	12,161	△ 1,744
施工売上	14,807	10,111	△ 4,695	11,838	△ 1,726
卸販売	269	213	△ 56	221	△ 7
その他	117	92	△ 25	101	△ 9
売上原価	10,886	7,064	△ 3,822	8,509	△ 1,444
うち、材料費等	6,711	4,066	△ 2,644	4,999	△ 933
うち、労務費	715	660	△ 54	654	+ 6
売上総利益	4,308	3,352	△ 955	3,652	△ 299
販売費・一般管理費	3,406	3,009	△ 397	3,270	△ 261
うち、人件費	1,878	1,604	△ 273	1,826	△ 221
営業利益	901	343	△ 558	381	△ 37

2021年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売上高	11,235	11,354	+ 119	11,474	△ 120
白蟻防除施工	3,547	3,598	+ 50	3,647	△ 49
床下換気・天井裏換気システム	2,497	2,887	+ 390	2,797	+ 90
基礎補修・家屋補強工事	1,881	1,766	△ 114	1,896	△ 130
その他	3,308	3,101	△ 206	3,133	△ 31
売上原価	4,488	4,450	△ 37	4,513	△ 62
うち、労務費	1,606	1,645	+ 39	1,678	△ 32
売上総利益	6,746	6,903	+ 156	6,961	△ 58
販売費・一般管理費	4,684	4,861	+ 176	4,944	△ 83
うち、人件費	2,911	3,041	+ 129	3,048	△ 7
営業利益	2,061	2,042	△ 19	2,017	+ 25

2021年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売上高	2,261	2,396	+ 134	2,320	+ 76
防錆機器取付施工	1,124	1,262	+ 137	1,272	△ 10
その他	1,137	1,133	△ 3	1,047	+ 86
売上原価	1,072	1,116	+ 43	1,045	+ 70
うち、労務費	256	256	△ 0	254	+ 2
売上総利益	1,188	1,279	+ 90	1,274	+ 5
販売費・一般管理費	907	993	+ 86	991	+ 1
うち、人件費	538	583	+ 45	588	△ 5
営業利益	281	286	+ 4	282	+ 3

2021年3月期 セグメント別見通し【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売 上 高	16,759	16,659	△ 100	16,824	△ 165
プラスチック燃料	10,111	10,350	+ 239	10,350	+ 0
発電所売上	3,023	3,155	+ 131	3,359	△ 204
有機廃液処理	1,968	1,904	△ 64	1,987	△ 83
埋立処理	1,122	697	△ 424	583	+ 114
その他の	533	551	+ 18	543	+ 8
売 上 原 価	11,375	11,535	+ 160	11,761	△ 225
うち、労務費	1,820	1,870	+ 50	1,882	△ 12
売 上 総 利 益	5,384	5,123	△ 260	5,063	+ 60
販売費・一般管理費	1,901	1,881	△ 19	1,950	△ 69
うち、人件費	1,067	1,077	+ 10	1,113	△ 36
営 業 利 益	3,483	3,242	△ 241	3,112	+ 129

2021年3月期 セグメント別見通し【エネルギー事業部門】

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期			
	通期実績	2/12 修正計画	前期差異	11/12 修正計画	計画差異
売上高	9,132	10,491	+ 1,359	9,266	+ 1,224
売上原価	9,203	10,265	+ 1,061	8,591	+ 1,674
うち、材料費	8,795	9,685	+ 889	7,949	+ 1,735
売上総利益	△ 71	225	+ 297	675	△ 449
販売費・一般管理費	413	632	+ 219	649	△ 16
うち、人件費	228	362	+ 133	365	△ 3
営業利益	△ 485	△ 407	+ 77	26	△ 433

(売上高 億円)



2021年3月期見通し

売上高 : 49,127百万円

営業利益 : 1,840百万円

営業利益率 : 3.7%

資料編

第3四半期の新型コロナウイルス感染症による影響状況

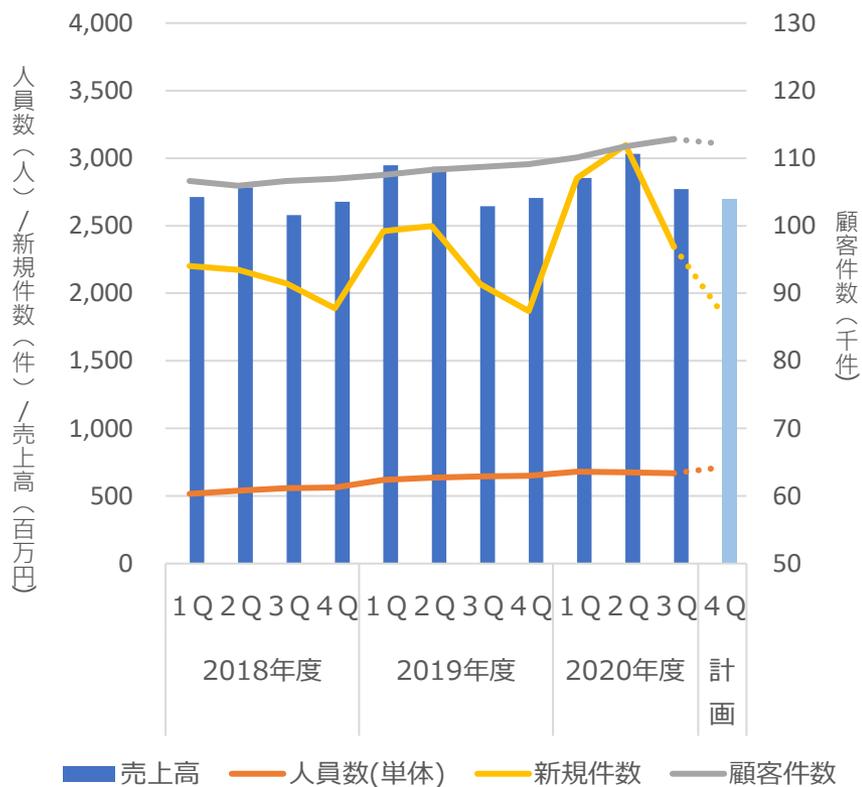
- 第3四半期の売上高は、コロナによる影響はあったものの、**概ね計画通り**に推移。

(単位：百万円)

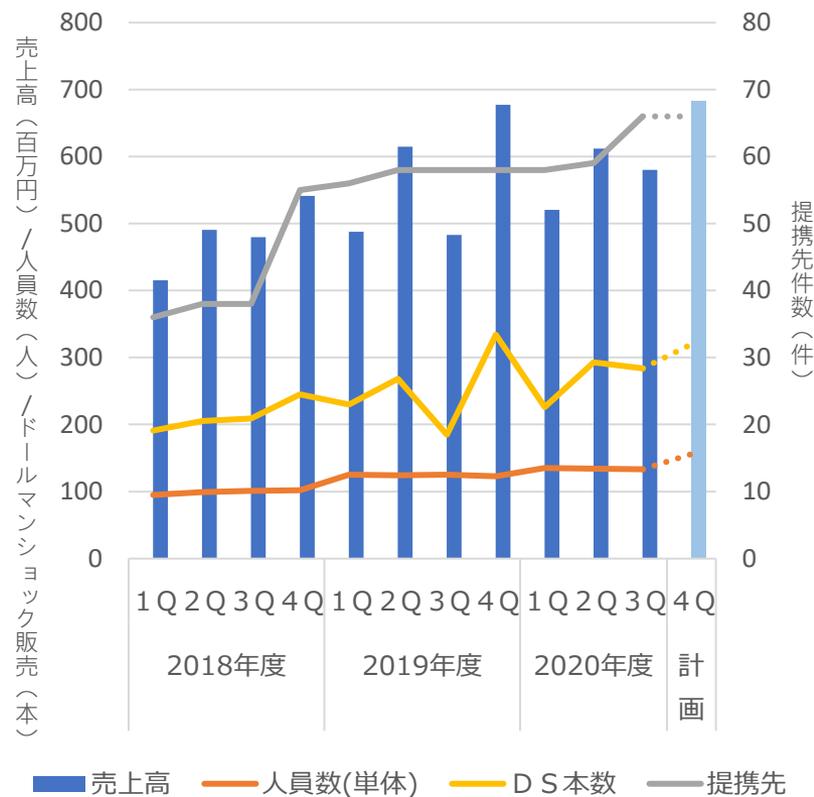
2021年3月期	1Q (4-6)	2Q (7-9)	3Q (10-12)	3Q累計 実績	3Q累計 計画	4Q：コロナ感染症による影響
売上高	11,893	12,053	11,865	35,812	36,626	特定地域における緊急事態宣言の再発令
S E 部門	3,024	2,374	2,307	7,706	8,671	緊急事態宣言が発令された地域においては、新規営業活動の原則禁止。また、訪問をする際は、事前にお客様から了承を得ている場合のみ可能としている。 その他の地域における通常の営業活動においては、感染対策を徹底のうえ継続。 環境資源開発部門においては、一部の廃棄物排出元の工場稼働及び経済活動の停滞により搬入量減少の影響もある。 エネルギー部門においては、電力供給先の事業停滞により供給量減少の影響もある。 ※全地域において、緊急性が高いもの（お客様対応）を除き、出張・県外移動を原則禁止。
H S 部門	2,854	3,031	2,771	8,658	8,666	
E S 部門	520	611	580	1,712	1,696	
環境資源開発部門	4,131	4,164	4,351	12,647	12,818	
エネルギー部門	1,963	2,438	2,387	6,790	6,610	
セグメント間の 内部売上高調整額	△602	△567	△532	△1,702	△1,837	

- 今期、コロナ禍においてもHS・ES事業部門は堅調な業績を示している。

HS事業の業績推移



ES事業の業績推移



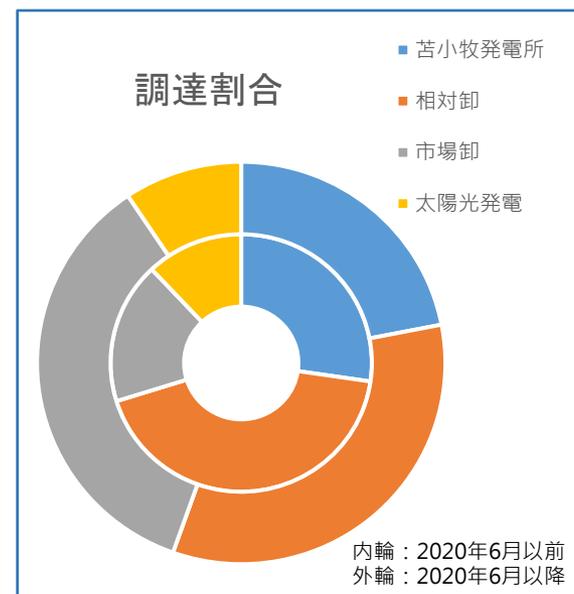
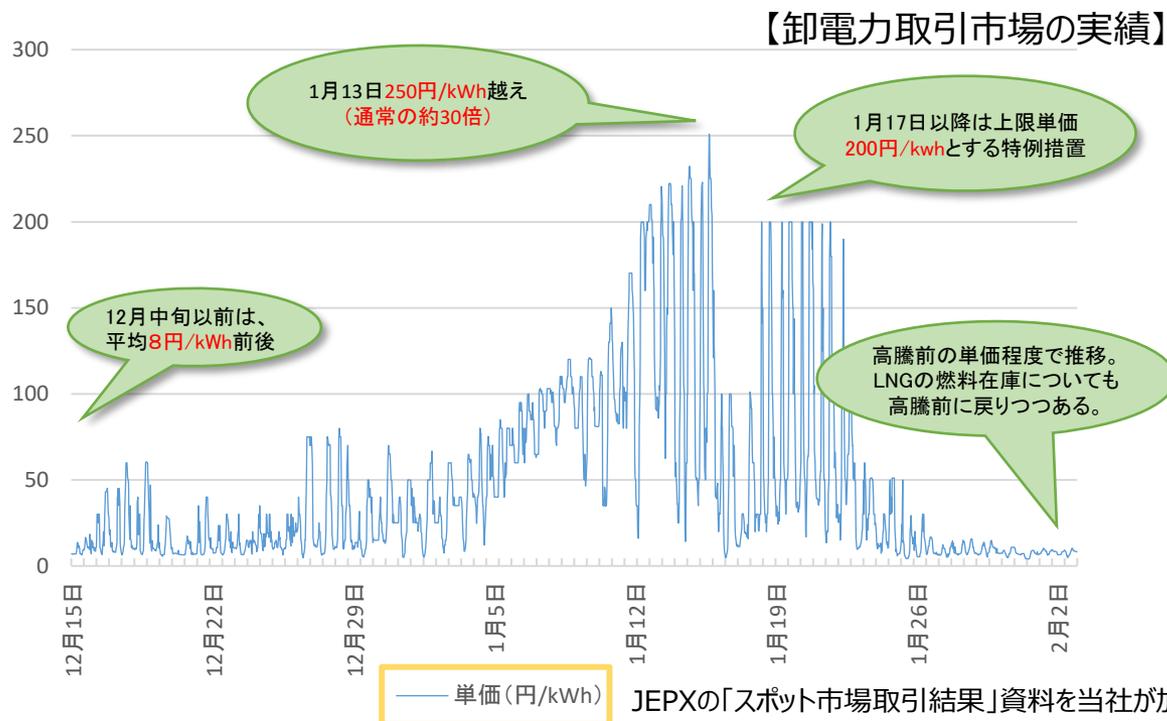
コロナ禍の中での営業で、当社の事業は「世の中に必要なもの」とであると再認識

JEPXの価格高騰の要因

- ・2020年12月中旬以降、猛烈な寒波の影響により暖房需要が増加した。
- ・また、LNG火力発電における燃料在庫が減少し、持続的な供給力が不足した。

JEPXの価格高騰による当社への影響

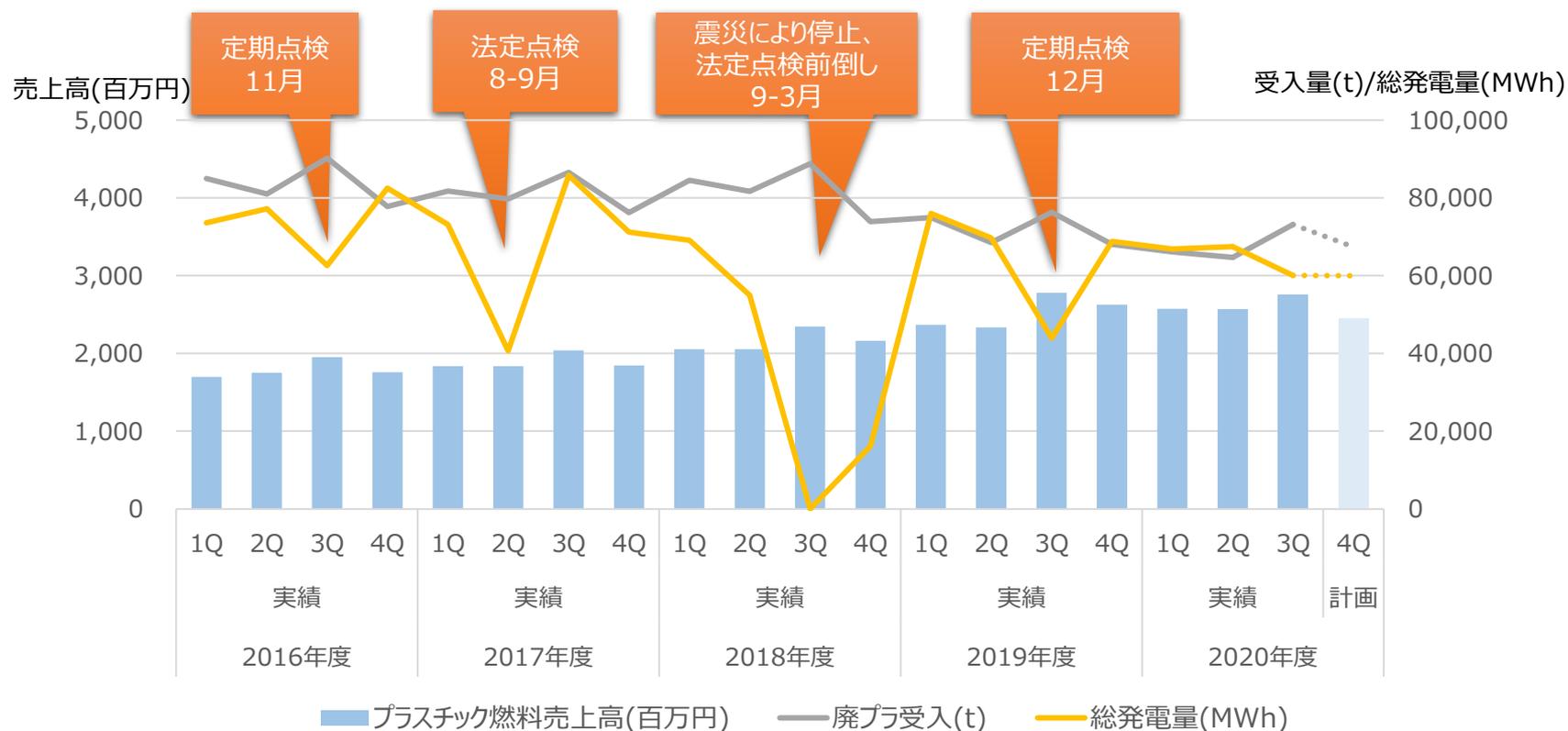
- ・市場調達コストの増加（営業損益への影響額：約5～6億円程度）
- ・預託金の増加



・前期までの受入物件の精査に加え、新型コロナウイルス感染対策の影響により一部の廃棄物排出元の工場稼働及び経済活動が停滞し搬入量が減少しているが、売上高・利益は維持している。

・**苫小牧発電所は、2021年3月より法定点検を実施する予定。**

- ・ 法定点検は2年に1回実施（タービン：4年ごと、ボイラー：2年ごと）



■ 新型高効率太陽電池モジュールの販売開始（2021年1月～）

当第3四半期に当社子会社で、太陽電池モジュールの製造を行っている善日（嘉善）能源科技有限公司にて高効率モジュールの製造を可能とする設備投資を実施。太陽電池モジュールの品質と安全に関する国際規格に基づく認証（認証機関：テュフノルド）を取得し、2021年1月より販売を開始。

太陽電池モジュール1枚当りの発電出力が大幅に上昇することで、同規模の太陽光発電設備を従来製品で設計した場合と比較すると、モジュールの設置枚数を減らすことができ、架台や電材等の周辺部材を削減することでコストダウンが可能。



従来製品：SRM305M-60N

公称最大出力	305W
モジュール変換効率	18.6%
セル変換効率	20.8%



新製品：SRM370M-60H

公称最大出力	370W
モジュール変換効率	20.2%
セル変換効率	22.5%

■ 新型太陽電池モジュールの特長

新型モジュールでは、高効率単結晶セルを2分割した「ハーフカットセル」を採用。

- 標準セルに比べて電流が小さくなることで抵抗値が低下し、セル内部の電力損失が減少
- 抵抗熱による温度上昇を抑えることでモジュール出力向上
- バイパスダイオードとセルの回路構成の変更により、影の影響による出力低下を低減可能

		2019/3期 実績	2020/3期 実績	2021/3期 予定
総資産		31,009百万円	32,514百万円	32,200百万円
純資産		4,193百万円	6,056百万円	7,300百万円
自己資本比率		13.42%	18.55%	22.77%
自己資本当期純利益率	ROE	5.85%	36.31%	20.12%
総資産経常利益率	ROA	3.88%	8.16%	5.51%
投下資本利益率	ROIC	2.31%	10.77%	7.96%
フリーキャッシュ・フロー		△972百万円	1,926百万円	251百万円
設備投資額		1,080百万円	2,742百万円	2,000～ 2,500百万円